

標準塗装仕様

工程	塗料・処置 (希釈剤)	塗装 回数	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装 方法	希釈率 (%)	塗装間隔 (23℃)	
一般仕様 仕上塗り	素地調整	ひび割れや欠損部は、コンクリート面の下地補修方法により適切に処置します。 脆弱な旧塗膜をケレン工具で除去し、汚れ等は高圧洗浄等により除去して乾燥した清浄な面とします。					
	下塗り	GCPコート下塗 (上水)	1	0.12~0.15	刷毛 ローラー	0~10	2時間以上
	水性シリコン (標準)	GCPコートSi (上水)	2	0.10~0.12	刷毛 ローラー	0~10	2時間以上
	弱溶剤シリコン	GCPコートSi-S (塗料用シンナー)	2	0.10~0.12	刷毛 ローラー	0~10	2時間以上
	水性フッ素 (超耐候仕様)	GCPコートFu (上水)	2	0.10~0.12	刷毛 ローラー	0~10	2時間以上

落書・ 汚れ防止仕様	塗料・処置	塗装 回数	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装 方法	希釈率 (%)	塗装間隔 (23℃)
素地調整	ひび割れや欠損部は、コンクリート面の下地補修方法により適切に処置します。 脆弱な旧塗膜をケレン工具で除去し、汚れ等は高圧洗浄等により除去して乾燥した清浄な面とします。					
下塗り	GCPコート下塗	1	0.12~0.15	刷毛 ローラー	0~10	2時間以上
仕上塗り	各種GCPコート仕上	2	0.10~0.12	刷毛 ローラー	10~20	2時間以上
落書・汚れ防止トップ	GCPガラスコート	1	0.05~0.06	刷毛 ローラー	無希釈	— (4時間以内)

※塗装間隔は、塗装作業環境により変化しますので、詳細については別途施工要領書でご確認ください。

施工可能下地

コンクリート打放し面・その他(モルタル・各種ボード・金属・木部ほか)ただし、下地に凹凸が無く平滑であることとします。

(下地種類により用いる下塗塗料が異なります。また、既存塗膜の種類によっては施工できない場合もありますので、弊社までお問い合わせください。)

適用下塗塗料

コンクリート打放し面等セメント系下地および各種塗装下地面は、標準型水系エポキシ樹脂系下塗を用います。

上記以外の下地(各種ボード・金属・木部面等)の場合については、お手数ですが弊社までお問い合わせください。

施工・取り扱い上の注意事項

●下塗および落書防止仕様に用いる各種塗料は2液形塗料です。ベースと硬化剤を規定の割合で調合し、十分混合した後に専用シンナーを規定内で配合し、十分に攪拌してから使用して下さい。

●塗装後、塗膜の乾燥過程で水(降雨や結露)の影響を受けると、十分な塗膜性能が発揮されませんので、結露や降雨が予想される場合は、塗装を避けて下さい。

●その他、施工方法と塗料の取り扱いの詳細については、別途施工要領書や製品説明書をご参照ください。

工程写真



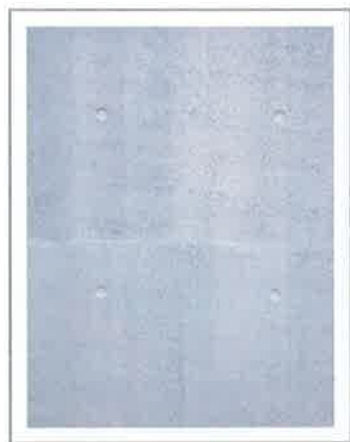
①木部用シーラー塗布後
下地は平滑であれば、様々な素材に施工可能です。
上記はコンパネへの施工。



②ベース色塗り
下塗り乾燥後は、ベース色を全面塗装し、下地を完全に隠ぺいします。



③模様付け
ベース色塗布後、特殊な専用ローラーで模様付けを行います。



④仕上塗り
仕上りを確認しながら仕上塗りを完成させます。



⑤完成
セパレーター補修跡や目遣いも書き込み完成です。



GCP COAT Gradation Pro

コンクリート打放し仕上
意匠復元(模様描画)工法

塗装により、コンクリート打放し模様を再現し、コンクリート打放し
外壁を強靱な塗膜で風雨や中性化から守り、建物をしっかりガードします。
コンクリート打放し仕上げの質感と風合いを
ローラー施工(特殊ローラー等)で簡単にかつ高度に表現できる工法です。



ご注文・お問い合わせは

株式会社山登塗装工業

〒320-0856
栃木県宇都宮市砥上町 247-4
TEL 028-648-3116 FAX 028-648-3226



〒989-6141 宮城県大崎市古川南新町7番46号
TEL.0229-25-7650 FAX.0229-25-7669
✉ gcp1111@nifty.com
ホームページ <http://www.gradation.co.jp>

外壁塗装の新しいカタチを提案する **グラデーションプロ株式会社**